

第30回田辺ジオパーク研究会巡検上富田町コース

行程案

9:00 救馬溪観音第一駐車場集合 乗合せ (軽自動車)

9:15 竜松山 山本氏代々の城跡の場所 (室町幕府の奉公衆 築城は1532~1555)

<http://www.town.kamitonda.lg.jp/chosei/shoukai/kanko/2437.html>

城の規模は「紀伊風土記」によれば、本丸東西約80m、南北約51m、堀約291m、堀幅約9m、東北に井戸があり、又、馬井戸もあったことが知られ、現在、本丸と二の丸の削地堀切、井戸跡の遺構が残っています。石垣の大部分は、明治22年(1889年)の大洪水で決壊した富田川堤防の復旧に使用

山本氏は富田川全域、現田辺市の大半と現日高郡の一部を支配した豪族でしたが、天正13年(1585年)豊臣秀吉の紀州攻めでこの山上に再三来攻、固守して降らず、天正14年9月(1586年)ついに和議に応じ登城、紀和の国境、真土峠藤堂高虎(まつちとうげとうどうたかとら)の館において謀殺された。』とあります(1585年、豊臣秀吉の侵攻に対しては、ゲリラ戦術で対抗し、戦いは3ヶ月つづき、和睦の話がでたそうです。

その交渉のために、当時の当主・山本康忠ら13人は、秀吉軍の陣営にでかけました。それが畏で、騙し討ちにあって全員殺害されたといわれています)

10:00 鉛山鉍山跡~天総会

11:45 昼食

方鉛鉍

13:00 清水鉍山跡 この鉍山は方鉛鉍や硫化鉄鉍を中心とする鉍山で、初期には金も出たようです。銀の含有が多いみたいです 近くの石ころをコンコンすると漂う硫黄臭とともに銀色の方鉛鉍が確認出来る。

14:00 稲葉根王子 熊野古道の話

西山の潜水橋 四万十川の潜水橋を真似

彦五郎堤防 彦五郎の人柱や明治大水害の碑

田中神社の森 南方熊楠のオカフジや大賀ハスの話

救馬溪観音 ご住職の話 田辺層群と牟婁層群2カ所の不整合

16:30 解散